

# 建築概論

## (第1回)

ガイダンスと自校学習

1

## 授業全体の到達目標

- 建築学科が育成目標として掲げる技術者像と卒業までに身につけるべき知識・能力（学習・教育到達目標）を理解する。
- 目標とする技術者像を自ら構築できる。
- 建築とは何か、建築に関係する職業にはどのようなものがあるのかの知識を深める。
- 建築専門家として身につけるべき技術者倫理について理解する。
- 副読本の読書を通して人格陶冶の方法を学ぶ。

2

## 評価方法

- 到達度確認演習（中間試験） 30%
- 目標とする技術者像に関するレポート 30%  
（どんな技術者をめざすのか？）
- 定期試験 40%

以上の割合で算出した得点60点以上が合格

3

## 近畿大学の建学の精神

未来志向の

人間愛による

「実学教育」と「人格の陶冶」



創設者：世耕弘一 先生

自校学習のYouTube動画 <https://youtu.be/kvt3QIZO0ds>

4

## 近畿大学の教育理念

教育の目的は、

人に愛される人  
信頼される人  
尊敬される人

を育成することにある。



5

## 人間形成 亀井勝一郎著『愛の無常について』

- 考える
- 迷う
- かくあれかしという一念の発生
- 邂逅（であい）
- 自分の言葉をもつ
- 死と向き合う

人は3度生まれる。

1. 赤ちゃんとしての誕生
2. 自我の誕生
3. 人間としての誕生



電子書籍で読むことが可能

6

## 悩めない大学生

- 葛藤や自分の感情と向き合うことができない
- 悩む段階を乗り越えてすぐに「落ち込む」あるいは「身体化する」
- 閉じこもりや無気力、心気症や摂食障害などの行動化としてこの状態を表現する
- 訴えが不明瞭で何を悩んでいるのか本人自身もわからない

齊藤孝著『若者の取扱説明書』

7

## 人格陶冶に対する建築学科の新しい試み

どうすれば 「人に愛され、信頼され、尊敬される人」になれるのか？



仏教による人格の陶冶

副読本：『学生のための仏教入門

～仏教に学ぶ生きるためのヒント～』

8

## 建築と宗教

- 建築は人間の生き方と深く関わる分野であり、建築家には、哲学、宗教への理解が不可欠である。
- 歴史的建築遺産の多くは宗教建築である。
- 宗教は、人間を知るための教えであり、宗教の基本原理を学んでおくことは、生きる上で非常に役に立つ。
- 広島は安芸門徒の地と言われ、今でも仏教の伝統が色濃く残っている。建築技術者として、お寺の神社の違いもわからないでは困る。

9

## 第1回レポート課題

1. 近畿大学の建学の精神についてわかったことを書け
2. 副読本の「まえがき」と「第1章」を読んだ感想について書け

10